

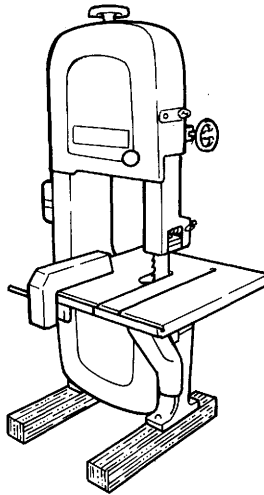
Makita

16型バンドソー

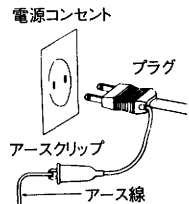
モデル **2116NA** (単相)

モデル **2116NA3** (三相)

取扱説明書



本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地
(アース)してください。



このたびは **マキタ16型バンドソー**を お買い上げ
賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

	モデル2116NA	モデル2116NA3
電 動 機	直巻整流子電動機	三相誘導電動機
電 圧	単相100ボルト	三相200ボルト
電 流	15アンペア	6.6アンペア (50ヘルツ) 6.2アンペア (60ヘルツ)
周 波 数	50-60ヘルツ	50-60ヘルツ
消 費 電 力	1,460ワット	1,500ワット(定格出力)
ホイール回転数	毎分1,150回転	毎分 950回転(50ヘルツ) 毎分1,150回転(60ヘルツ)
伝導Vベルト	A-36(2本)	A-43(2本)
最大切削厚さ	315mm	
帯ノコ寸法	0.65×76×2,850mm	
ホイール径	ゴム付ホイール 405mm	
定盤の大きさ	550×525mm	
定盤の傾斜角度	0~45°	
重 量	135kg	150kg
機 体 寸 法	高さ 1,450mm	高さ 1,450mm
	幅 800mm	幅 865mm
	長さ 550mm	長さ 550mm

・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の △ 警告 △ 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は △ 警告 と △ 注意 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、△ 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なお注意。

安全上のご注意

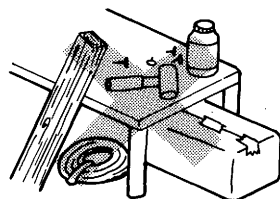
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

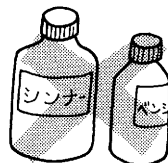
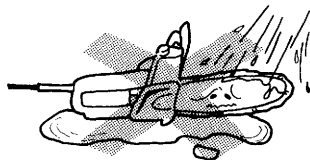
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

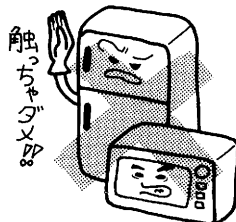
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



4. 感電に注意してください。

- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。

(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)



⚠ 警告

5. 子供を近づけないでください。

- 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

7. 無理して使用しないでください。

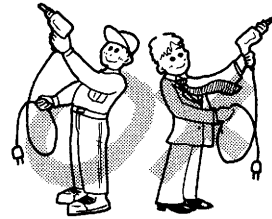
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。



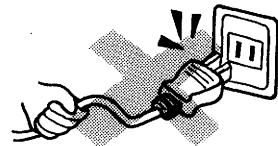
10. 保護めがねを使用してください。

- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



11. コードを乱暴に扱わないでください。

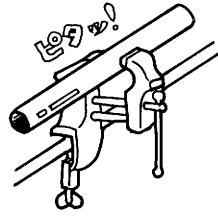
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



⚠ 警告

12. 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



13. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

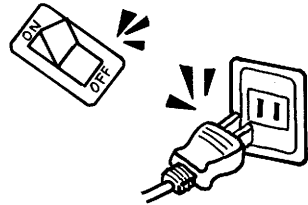


14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。



16. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

17. 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

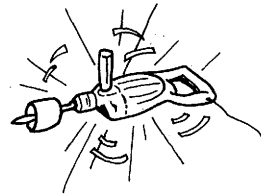
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。



20. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

22. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

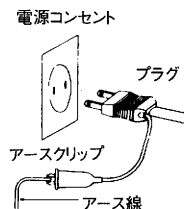
バンドソー安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、バンドソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 必ず接地（アース）してください。

- 故障や漏電のときに感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横からでているアースクリップをアース線に接続してください。
- アースクリップやアース線に異常がないか確認してください。



テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたらアースクリップと機械本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。

- 三相モデル（2116NA3）をご使用の場合は、キャブタイヤコードのアース線（緑色）で接地を行ってください。
- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に接続されますことをおすすめします。

漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条

2. アース線をガス管に接続しないでください。

- 爆発の恐れがあります。

3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。

- アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

4. 三相モデル（2116NA3）をご使用の場合、移動し理由とする、電源コード接続の際には、主電源およびメインスイッチが切れていることを確認してください。



警告

5. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
6. 帯ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内の帯ノコ刃を使用してください。
 - 反ばつなどにより、けがの原因になります。
7. 使用中は、軍手など手袋を着用して使用しないでください。
 - 帯ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
8. 使用中は、帯ノコ刃や回転部に手や顔を近づけないでください。
 - けがの原因になります。
9. 使用中は、材料をしっかり保持し、こじれのないように切断してください。
 - 材料がこじられると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
10. 切断途中で、帯ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。
 - 帯ノコ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力が生じ、けがの原因になります。材料を戻すときは、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。
11. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 帯ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - 確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 帯ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - 帯ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. テーブルの上のものが飛散し、けがの原因になります。
4. 帯ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。
 - 帯ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
6. 材料を押す手を、帯ノコ刃の延長線上に置かないでください。
 - けがの原因になります。
7. 作業台がわりにテーブルの上に乗らないでください。
 - 思わぬ事故の原因になります。

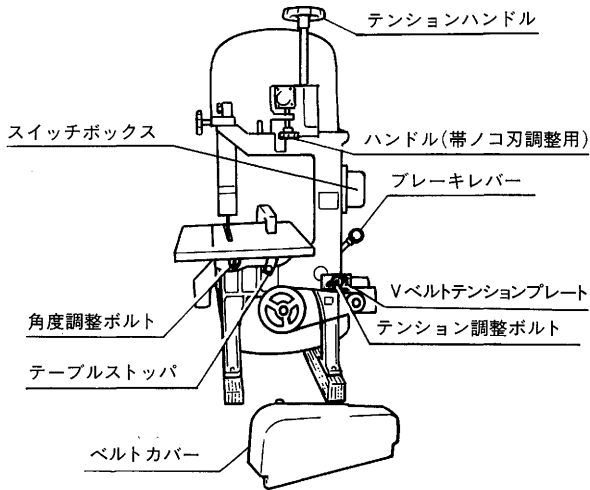
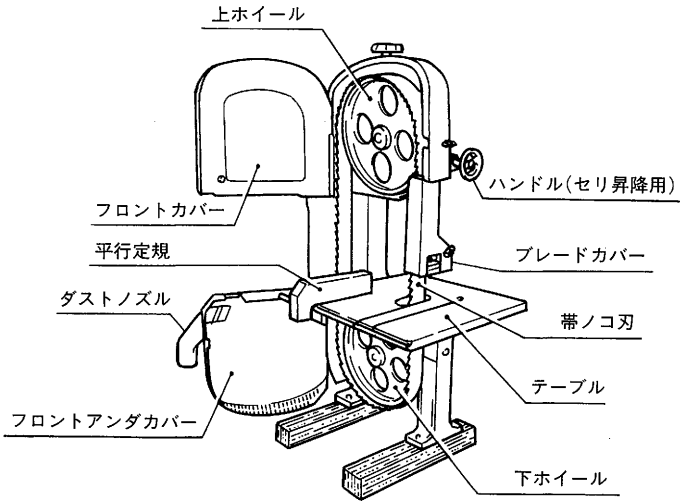
注

- 電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ(公称断面積)と最大長さの関係

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
1.25mm ²	10m
2.00mm ²	20m

各部の名称および通常付属品



図は2116NA

通常付属品

- ボックスレンチ 13-17
- 平行定規
- 傾斜定規

特別付属品(別販売)のご紹介

帯ノコ刃

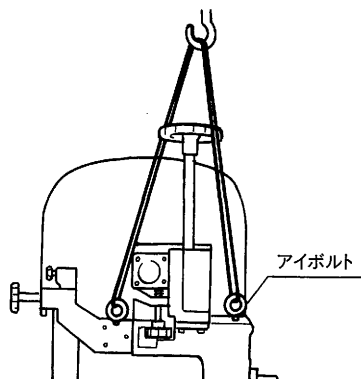
帯ノコ刃の種類	寸法(mm)幅×長さ
全歯ステライト刃	76 × 2,850
ステライト刃	51 × 2,850
	60 × 2,850
組アサリ刃	25 × 2,850
	51 × 2,850

※ステライト刃51×2,850、組アサリ刃51×2,850は在庫確認の上、ご注文してください。

使い方

機械の移動・運搬

- 機械を移動させるときは、機械後側のアイボルトを使用して、機械を吊上げて移動してください。



機械の設置

- 明るくて足場の良い傾斜のない平坦な場所に据え付けて、安定した状態でご使用ください。

防錆剤の除去

- 灯油・ガソリンなど揮発性の油をしみこませた布で、テーブル面の防錆剤をきれいに拭き取ってください。

◎電源コードの接続 (2116NA3)

- 電源コードを電源に接続してください。

注

- 電源コード接続の際には、電源が切れていることを確認してください。
- 電源コードの緑色はアース線です。必ずアース(接地)してください。

帯ノコ刃の調整

⚠ 警告

帯ノコ刃の調整には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。(2116NA) 電源を切ってください。(2116NA3)

- ・プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

帯ノコ刃の張りは正しく調整してください。

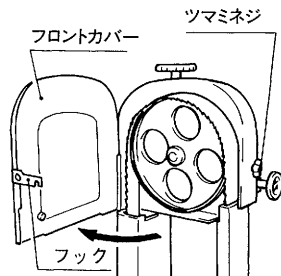
- ・張りが強すぎると帯ノコ刃に亀裂が入りけがの原因になります。
逆に張りが少なすぎると挽曲りの原因になります。

帯ノコ刃の前後調整を正しく行ってください。

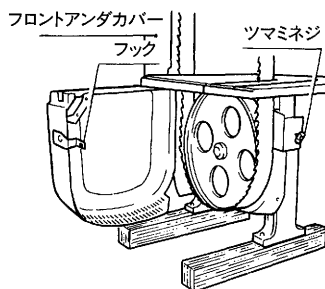
- ・帯ノコ刃が飛び出したり、カバーに当たったりしてけがの原因になります。

- ・帯ノコ刃は、出荷時には、ゆるめてあります。張り調整を以下の手順で行なってください。

- ・ツマミネジをゆるめてください。
フロントカバーのフックをはずして
フロントカバーを開けてください。

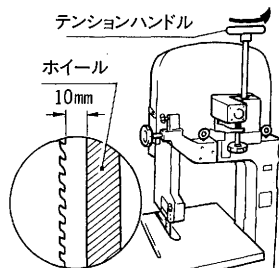


- ・同様にフロントアングカバーも開けてください。

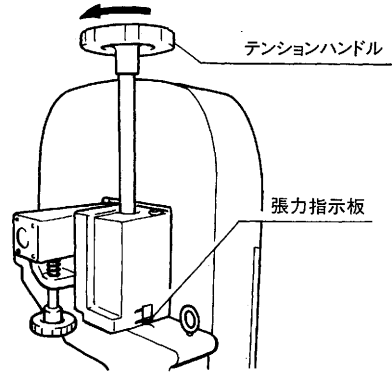


- ・帯ノコ刃が図の位置に掛かっているか確認してください。

位置が違う場合は、テンションハンドルを矢印の方向に回して、張りをゆるめ、帯ノコ刃の位置を合わせてください。

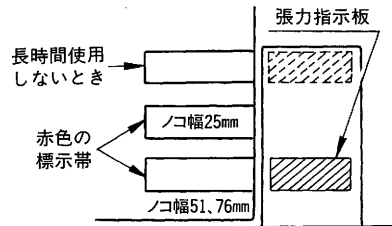


- テンションハンドルを回して帯ノコ刃の張りを調整してください。矢印の方向に回すと張力指示板が下がり、張りが強くなります。張りは、ご使用になる帯ノコ幅により変わります。張力指示板が赤色の標示帯と並ぶようにテンションハンドルで調整してください。



注

- 本機を長時間使用しない時は、帯ノコ刃の張りをゆるめておいてください。

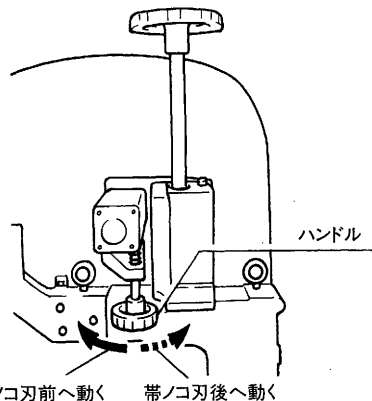
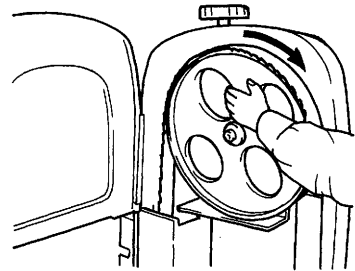


- 上ホイールを手で空転させてください。帯ノコ刃が後へ下がるようでしたら、実線の矢印方向へ回してください。前へ出てくるようでしたら、ハンドルを破線の矢印方向へ回してください。ハンドルが重くなって回らない場合は、テンションハンドルで帯ノコ刃の張りを緩め、ハンドルを回してください。

テンションハンドルで帯ノコ刃の張りをもとにもどし、帯ノコ刃の安定を確認してください。

帯ノコ刃が前ページで示した位置で安定して回るようになるまで調整してください。

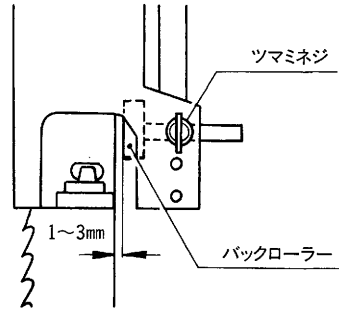
◎ノコ幅60mmの時は、ノコ幅51mmと同じ位置にしてください。



- フロントカバー、フロントアンダカバーを閉めて、フック、ツマミネジでしっかり固定してください。

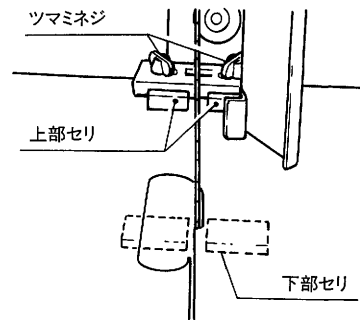
バックローラの調整

- バックローラは、帯ノコ刃の背部から1～3mmのスキマをあけて、ツマミネジで固定してください。

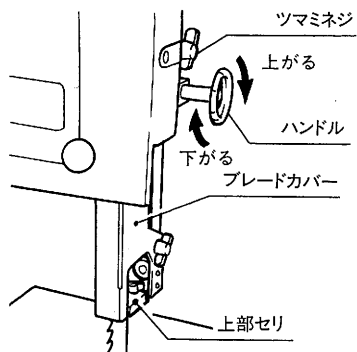


セリの調整

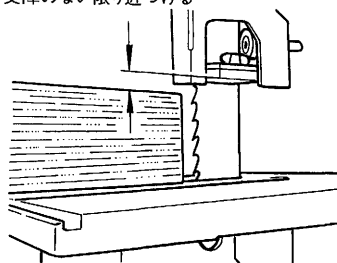
- 材料を正しく真直ぐ切るためには、セリの調整が大切です。
- セリは帯ノコ刃と平行で軽く接触させてチョウボルトでしっかりと締めつけてください。定盤下にもセリがありますので同様に調整してください。



- 上部セリは、ツマミネジをゆるめて、ハンドルを右に回すと上がり、左へ回すと下がります。切断に支障のない限り材料に近づけてください。



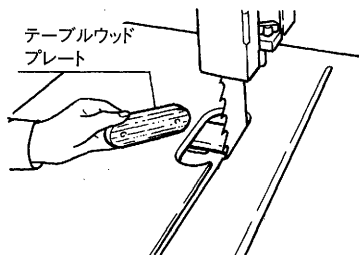
支障のない限り近づける



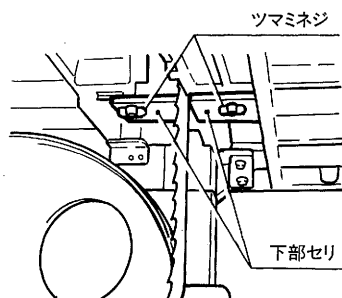
テーブルの傾斜

• テーブルは、右45°まで傾けることができます。

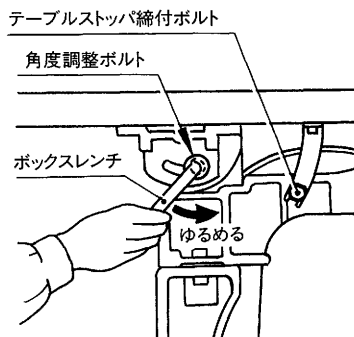
• テーブル中央のテーブルウッドプレートを取りはずしてください。



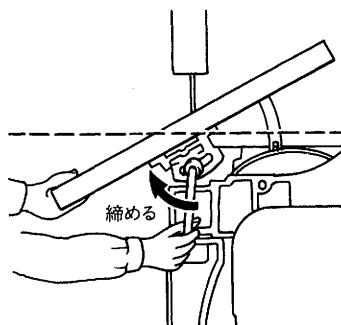
• 下部セリを取りはずしてください。
(傾斜切断の時は、下部セリは使用しません。)



• テーブル下の角度調節ボルトとテーブルストップ締付ボルトを付属品のボックスレンチでゆるめてください。



• 必要な角度に傾斜させ、再び角度調節ボルトを締付けてテーブルを固定してください。

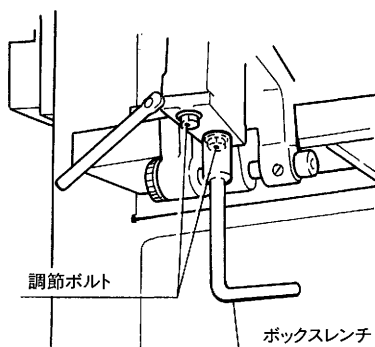
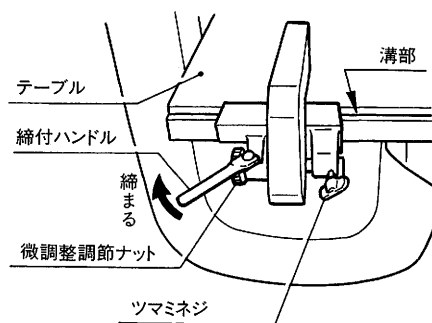


平行定規の使い方

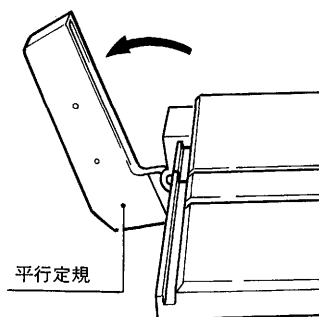
- 平行定規は、図のようにテーブルの溝部に取り付けて、締付ハンドルで固定してください。

ツマミネジをゆるめて微調整ナットを回せば位置の微調整ができます。調整後は、ツマミネジを締め付けてください。

- 平行定規は、出荷時に帯ノコ刃と平行になるように調整してあります。平行が狂った場合は、調節ボルトをゆるめ平行を調整してください。

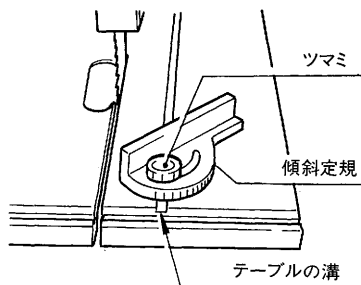


- 平行定規は手前へ倒すことができますのでテーブルが広く使えます。



傾斜定規の使い方

- テーブルの溝に傾斜定規を取り付けてください。ツマミをゆるめてお望みの角度(左右0~60°)に合わせてください。調整後は、ツマミを締め付けてください。



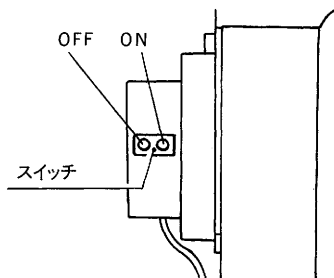
スイッチの操作

⚠ 警告

電源を入れる前に、スイッチがOFFの状態であることを必ず確かめてください。

- 事故の原因になります。

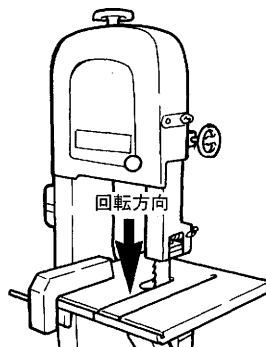
- スイッチは「ON」のボタンを押すと入り、「OFF」のボタンを押すと切れます。



回転方向の確認

- 三相モデル (2116NA3) をご使用の場合は、帯ノコ刃が正規の回転方向かどうか確認してください。逆回転の場合はスイッチ、電源を切り、コードのアース線を除く3線のうち2線をつなぎかえてください。

図は2116NA



切断作業

⚠ 警告

手がノコ刃に接近する場合は、必ず押し棒など治具を使用してください。使用中は、材料をしっかり保持し、こじれないように切断してください。

- 材料がこじられると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。**
- ノコ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力が生じ、けがの原因になります。材料を戻すときは、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。

⚠ 注意

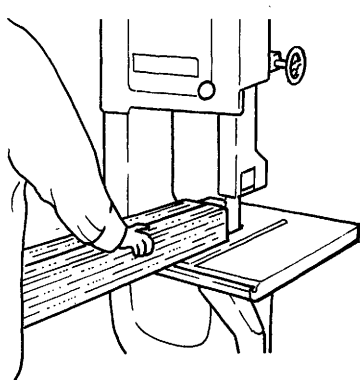
ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。

- ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
- 材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。
- けがの原因になります。

平行定規は、確実に固定してください。

- 固定が不十分な場合、材料がこじれてけがの原因になります。

- スイッチを入れてホイールの回転が上昇し安定してから、材料をしっかりと両手で保持し、ケガキ線に添わせゆっくり進めて切断してください。

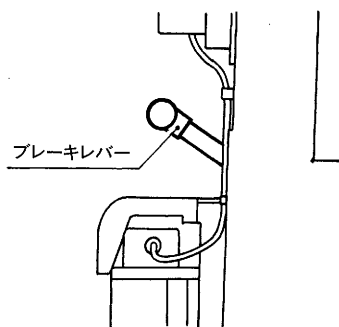


ブレーキの使い方

- スイッチを切り、ブレーキレバーをホイールが停止するまで押えてください。

注

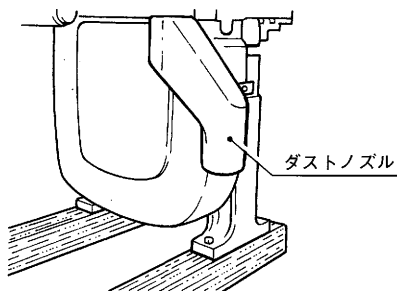
- スイッチが入ったままブレーキレバーを押さえますと、機械や帯ノコ刃が損傷する恐れがあります。



図は 2116NA

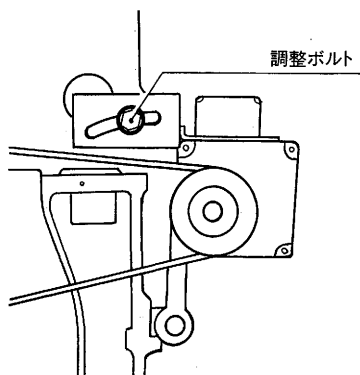
ダストノズルの使い方

- 集じん機モデル410、のホースを接続してお使いになりますと、衛生的に作業をすることができます。



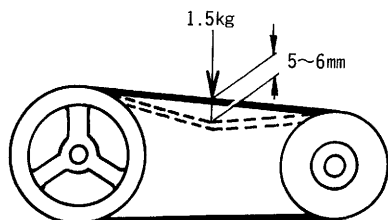
ベルトの張り調整

- ベルトの張り具合は、ベルトカバーをはずし、モータ下部の調整ボルトを調節して行なってください。ベルト中央を指で軽く押したとき（約1.5kg）5～6mmたわむように調整してください。



注

- ベルトの張り過ぎ、たるみは、軸受の損耗やスリップの原因となりますので十分注意してください。



保守・点検について

⚠ 警告

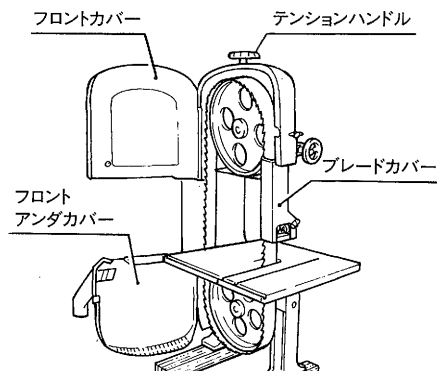
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
(2116NA) 電源を切ってください。(2116NA3)

- ・プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

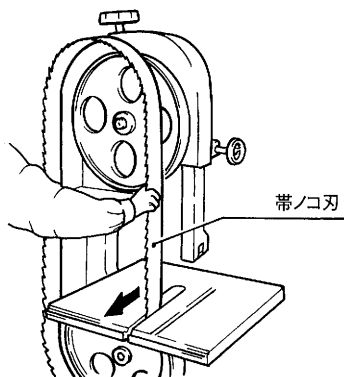
帯ノコ刃の交換

帯ノコ刃の取りはずし方

- ・平行定規を取りはずしてください。
- ・フロントカバー、フロントアンダカバー、ブレードカバーを開けてください。セリを広げてください。テンションハンドルを回して帯ノコ刃の張りをゆるめてください。



- ・帯ノコ刃を両手で持ち、ホイールより取りはずしてください。そのまま、テーブルの溝に沿って引き抜いてください。

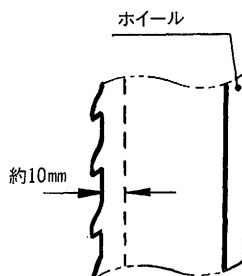


帯ノコ刃の取り付け方

- 帯ノコ刃の取りはずしの逆の順で行ないます。
- 帯ノコ刃をテーブル溝より入れて、上下のホイールに掛けてください。

- 帯ノコ刃幅に合わせて帯ノコ刃を張ってください。

ホイールを手で回して、帯ノコ刃が前後に移動しないことを確認してください。(P.14参照)

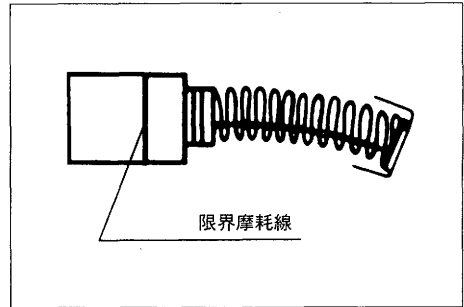


- バックローラ、上下セリを調整してください。(P15～P16参照)
- ブレードカバー、フロンカバー、フロントアングカバーを閉じてください。

カーボンブラシの交換(2116NAのみ)

- カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。

カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。新品と交換する際は、当社指定のカーボンブラシをご使用ください。

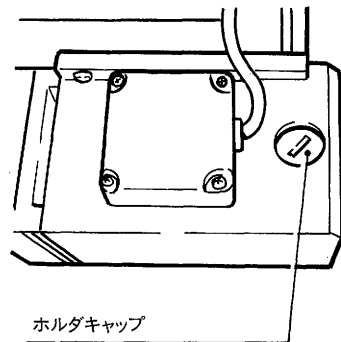


- ネジ回してブラシホルダキャップを取りはずしてください。

- 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。

このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。

カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行なってください。

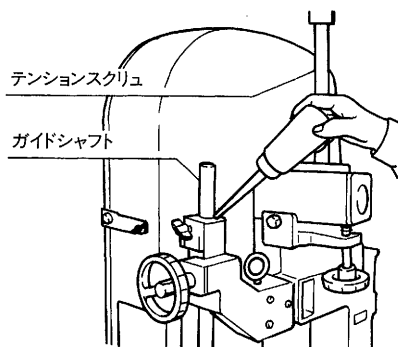


- ホイールの表面にノコ屑等を付着させたまま使用すると、ノコ身に亀裂を生ずる原因になりますから常に表面は軽油等で拭きとり、清潔に保ってください。

- 本機を長時間使用しない時は、テンションハンドルをゆるめておいてください。

(P 14参照)

- ガイドシャフト、及びテンションスクリューねじ部には時々機械油を注油してください。



ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または裏面掲載の最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (29) 0960	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0742) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	橿原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖繩営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (281) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (281) 1555	姫路営業所	(0792) (81) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松支店	(087) (841) 2201
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (841) 2201
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター	(048) (771) 3451	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (771) 3462	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
両毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(0593) (51) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0478) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福知山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		

881720A3

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)